



発行所
阿倍野高校新聞部

選挙延期さる

去る六月十七日に予定されていた昭和五十二年前期自治会執行部選挙が、今週の日曜日に延期になったのは、諸君も知っているであろう。理由は、立候補者が定員不足のため(一

み切った理由を自治会選挙管理委員長に尋ねてみたところ、「選挙を二度もして貴重なH・Rの時間を費やすよりは、一度の選挙で済ませた方が合理的だから」という返事がかえってきた。また、「執行部役員活動とは、阿倍野自治会の振興なるのだから、そのためにもたくさんの人に立候補してほしい」ともいっていた。

「H・R活動を活発に」
近頃、さかんにH・R活動の活発化が言われている。各クラスで、何かをやったというものを創り上げていくというのである。

対して積極的に活動しようとしているクラスは少なかつた。活動しているクラスをあげてみると、一六、二二の遠足の予定。三二では、すでに計画を実行し、スウェットに汗をかいた。また、二二では、毎日、新聞を発行している。二二八では、クラスノートをまわしていることなどで、これらの目的はやはり、クラス親睦の熱い雰囲気作りである。そこで、クラスの親睦が深まったかと尋ねてみると、「わからない」というクラスが多数あった。

針の穴
阿倍野の夏の制服を確立してみよう。男子は白のカッターシャツ、または開襟シャツ。女子は規定の夏ブラウスを着用することになっている。▼ところが、これに対して、特に女子の夏ブラウスに関しては、いろいろと不満のある人が多い。そのため何人かの生徒は、規定にないようなものを着ている。その生徒たちはそうすることによって、規則に反抗し、それだけで満足している。だからいつまで経っても規則違反のままで終わってしまう。何の進歩もない。それではどうした方がいいのだろうか。▼それはやはり、今の規定を改正するということになるだろう。もちろんそのことが阿倍野の進歩につながるわけではないのは、言うまでもないことだ。それでも、我々が望む規定になれば、違反もなくなるだろう。▼だから今は、違反をして制服を着ないことより、規定に反対するならば、改正させるようにするほうが、重要なことではないだろうか。

部説

「高校生生活は充実させるには、どうすればいいか、考えてみる」

際、ゆかりの帯は、難しい。一般に、何かうちこめる物を捜せばいいとか、目的を持って進めばいいなどと言われている。高校時代というものは、何かを成し

時間を有効に

た場合、結果がどうあるかと、その過程と努力が重要なのではないだろうか。だから、誤りを恐れずにやってみることも大切だろう。充実感というものの効

験にしない事。これが一番大事ではないだろうか。そうすれば、必ず何かが生み出されてくるはずだ。そうして生み出されたものの中から自分が夢中になれるよ

うな物を見つけ、それに対しての努力をおしまぬことが大切である。我々は今、青春時代のまっただ中にいる。数々の悩み事や一度におしよせてくる大変な時期だが、一生のうちで最も重要な、最もすばらしい時期でもあるのだ。この時期を無駄にせず、充実した生活を送り、自分の歩むべき道を、しっかりと見きわめるべきであろう。

【お詫言】
二一五、三一六は、遠足を予定中。二一七は、誕生会を行っています。

か。

数生インタービュー —— 実習を終えて——

先頃、私達の先輩が二週間から三週間、教育実習生として学校に采られた。大勢ではまだ学生である先生方に教育実習の感想などをインタビューしてみた。インタビューの内容は次の通りである。「なお敬称略」の高校時代のクラブ

- ③授業中、よく寝ていた。
- ④藤村先生・尊敬している
- ⑤難しい。疲れた。

①岡 佐江子(日本史)
②大学を卒業した年の秋頃
③学年によってクラスの違いが異なっていたが充実していた。

- ④伊藤先生・批判は厳しいが、とてもためになった
- ⑤もう少し、考える態度を養ってほしい。

①近江 聡一(数学)
②水泳部
③相手はみつかりはすべし

- ④夏は暑かった。今、考えれば楽しかった。
- ⑤今中先生・先生になるのによい参考といえる人。意外に静かで、やりやすかった。

①池田 勝彦(倫理)
②一時、目の下にクマができた。

- ③いつもいい。何回でもしたい。

④山口先生・親切である。⑤静かにしてほしい。遅刻をしないように。

- ①桑原 正行(政経)
- ②なし。
- ③わからない。
- ④堀川先生・博覧強知
- ⑤南無極楽(かみきり)

①ス保 真優美(英語)
②クラスバンド部
③相手はみつかりはすべし

- ④小島先生・親切である
- ⑤生徒が恐ろしくて、とてもあがった。

①鴻野 涼子(化学)
②女子バスケット部
③卒業して二年位した。

- ④石川先生・いい先生
- ⑤クラスによって反応の違いがある。

①須田 真木子(音楽)
②なし。

- ③三年後
- ④模範的だった。
- ⑤多岐先生・やさしくて力持ち。
- ⑥最初は怖かった。しかし高校生活はいい。



①戸田 宏二(保健)
②軟部
③相手はみつかりはすべし

- ④堀川先生・とても親切
- ⑤素直な生徒ばかり。

①藤林 智子(家庭)
②テニス部と社研
③卒業した年の秋頃

- ④佐々木先生・親しみの持てる頼れる人である。
- ⑤短時間で個性が出せないのが残念だった。

①松田 亨一(生物)
②生物部
③早い方がいい。ニニオ

- ④クラブは遊びで毎日を送った。
- ⑤沢田先生・わかりやすい
- ⑥いい先生である。
- ⑦静かで教えるすかった。

①山崎 龍一(英語)
②E.S.S

③のうづ中心に過ごした。④福田先生・大へん親切。⑤おとなしくって、よく学習をしている。

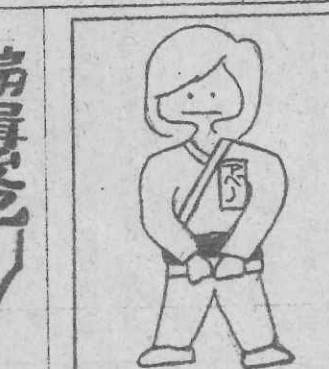
- ①吉井 巧一(英語)
- ②クラスバンド部
- ③一年前に結婚した。
- ④お前先生・授業が一生懸命で、親切にしてくれる。
- ⑤素直でいい生徒である。

①美術の木原先生は、実習期間が、他の方と違って、ちがっていたので、インタービューができませんでした。お詫言いたします。

②ニニオ

③のうづ中心に過ごした。④福田先生・大へん親切。⑤おとなしくって、よく学習をしている。

編集後記



空手、クラブになる。去る六月九日、空手道同母会が、念願のクラブ昇進となった。今後のクラブとしての活躍を期待したい。

前回より一ヶ月の間に、今回の出来は、いかがでしたか。選挙は立候補者少数のため延期とあいなりましたが、果たして期末考査にこの手段を用いてはいけなかったか。受験者少数のため考査延期となるかどうか。尚、現在部内では、この考査と平行して考査の作成も行っていますので、今学期中には、あとがき版一回、考査一回の手元へ届くことと思います。では皆様方、今後とも新聞部を、かみきり、つづけていませ。